

2009年

## 2月21日（土曜日） - 支えあいの力 -

本日、民生児童委員協議会の皆さんの後援をいただき、社会福祉協議会の皆さんと共同募金会の皆さんが主催をして、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり研修会」がアミティ丹後で開催され、300人以上の大変大勢の福祉関係の皆さん、市民の皆さんが参加されました。

本市は、まちの将来の真の発展に向け、支えあう、助けあう、与えあう、ともに生きる共生のまちづくり、市民全員みな兄弟のまちづくりを掲げて、様々な分野でまちづくりを進めていますが、昨年来の大不況が重なって産業・社会が大変厳しい状況に直面する中、みなさんが心を寄せともに力を合わせていくありようがますます大切になってきています。

そんなまちづくりのため、本市では、一昨年から市立病院の運営に広くボランティアを募集し、患者さんの車椅子手押し支援、語り合い、音楽や絵画の展示など幅広い分野でボランティアをしていただいております、広く住民の皆さんに温かい心を寄せ合う手創りの病院づくりに貢献していただいております。また、今年度からは、中学校の学校支援ボランティアを募集し、地域や住民の皆さんがこれまでの見守りのほかに授業や行事の補助・支援など、子どもたちの成長を願う真心をみなで寄せ合う学校づくりをし始めています。

今後とも、様々な分野でボランティアや支えあいを進めていきたいと願っていますが、中でも、住民の皆さんの普段の生活の中でお支えを必要とされている高齢者の皆さん、生活困窮者の皆さん、若者、児童などの皆さんの生活や人生を日常的に支えていただいている民生児童委員の皆さん、福祉委員の皆さん、各種福祉活動のボランティアの皆さんはじめ関係者の皆さんのご貢献には心から敬意を捧げますとともに、今後とも大切な活動を無理なくますます充実していただけますよう、行政として尽くしていきたいと思っています。

私は、「支え合い」とは、支えあうこと自体、その形自体、大切なのはいうまでもありませんが、一面それ以上に、支えあう中で互いの「心が通い合う」こと、そしてそこから心を共にする真の喜びが湧いてくること、それが及んでそんな喜びが社会の中へと広がり出て、社会の活性化が真に生きづき始めること、人もまちもともにまことの喜びに生きづかせていくことこそ「支えあい」の核心だと思います。「支えあいの力」は、人と社会の真の発展を牽引する大きな力になる、と確信しています。